

特 集

図書館で集うということ

コロナ禍、図書館では、感染拡大状況に応じて開館時間や貸出方法を変えるなど、安全に利用できるよう対応が取られてきました。そんな中、もっとも制限を受けたのが、人が集う行事です。けやきが関わってきた恒例の催しも、中止や延期を余儀なくされました。しかし最近では、対策を講じたうえで、いくつかの行事を再開することができています。一方、「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」など、まだ休止しているものも。今できることは何か。昨年秋から今年の春にかけて実施した催しを紹介します。

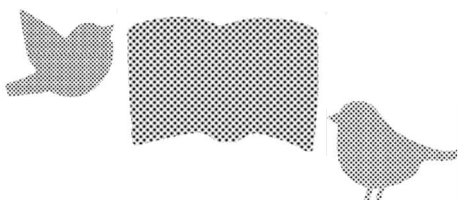
山本忠敬原画展を開催

昨年12月3日から6日まで、左京図書館内で「山本忠敬原画展」(左京図書館・けやき共催)を開催しました。左京図書館読み聞かせ交流会の講演会「のりもの絵本作家・山本忠敬氏の絵本づくり」に合わせて、夫人の山本洋子さんから作品などをお借りし、実施したものです。

児童書コーナーの壁面に絵本「ちいさいサンパン」の原画を展示。前のガラスケースには、「週刊新潮」のカットや山本氏が愛用したペンなども並びました。原画の細部をじっと見つめる大人の方や、「これ、幼稚園にあるやつや!」と「しょうぼうじどうしゃ じぶた」に駆け寄る子どもの姿も。また展示に合わせて、図書館所蔵の山本氏の絵本や一般書が貸出できるように置かれ、お気に入りの本を手にかんたうへ向かう人も見られました。

密にならずに間近で貴重な原画を見たり、写真に収めたりすることができ、日常生活の中にある図書館で展覧会を実施する意義を感じました。子どもには塗り絵のおみやげもあり、小規模ながら充実した内容の展覧会となりました。

(澤田)





山本忠敬原画展の様子

本をよんだら何しよう？今年も「図書館で発表会」

2月10日から3月10日まで「図書館で発表会」が開催されました。

図書館を利用してこんなことができましたということを発表してもらい、図書館活用術の披露の場になっています。

一般応募は5名でした。本を読むことで中国の今と昔に興味を深めもっと知りたいと思っていること、自分にとって図書館・読書とはどのようなものか考えをまとめたもの、手作りのバッグ、デザイン画などでした。

また、日ごろ図書館と連携した取り組みをしている中学校からは、本を紹介する「本の帯」や歴史上の人物を調べたり、地域について調べたりしたことを模造紙にまとめたものを発表してもらいました。

今回も多様な内容の力作がそろいました。

応募作品の受付・展示・返却は図書館が一手に引き受けてくださり、けやきは発表会の宣伝・応募の依頼で協力しました。

「自分の作品がステキに展示してもらえて、うれしかった」「知り合いが見に来てくれた」「コロナ禍でなかなか学校へ行けないので、図書館で作品を見ることができてよかった」と、喜びの声を聞くことができました。 (田中)

左京図書館おたのしみ会

左京図書館では毎月第4土曜日に、けやきの皆さんから1名、司書から1名でおたのしみ会を実施しています。打合せから行い、どんなテーマの会にするか、どんな本を読むかなどを話し合っって当日に備えます。季節に沿ったテーマにすることが多く、絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、素話などをしています。おすすめ本のリストを作成し、おたのしみ会に来てくれた子どもたちに配布することもあります。リストに掲載した本をすぐに借りてくれる子もいて、とてもうれしく思います。

コロナウイルス感染拡大防止のため、おたのしみ会が中止となった月もありました。再開しても、手遊びなどを通しての子どもとのやりとりを控えめなものにしなければならず、飽きさせないようにするにはどうしたらよいか悩んだこともありました。

けやきのメンバーの方たちとおたのしみ会では、読み聞かせの技術はもちろんのこと、絵本に関する様々な知識を学ぶことができ、良い刺激を受けています。これからも、協力し合いながら、楽しいおたのしみ会が開催できることを願っています。 (左京図書館 園山)



図書館で発表会の様子

3年ぶりの「えほんのひろば」

4月17日「えほんひろば in きょうと」を3年ぶりに行いました。

コロナ禍以前の楽しく本を読めるコーナーは（キルト、ミッフィーちゃんのお家、テント等）、ありませんでしたが、是非手に取ってもらいたい本はここにあります！という思いを繋ぐことができ、ここから嬉しかったです。また、会場内で初めてお楽しみ会を開催、午後からのブックトークにも、さまざまな年齢の子どもたちが集まり、本を楽しんでくれました。



午後から行ったブックトークの様子

開催を知って頂く為前日より図書館入り口前に掲示板を立てました。春らしい折り紙で絵本から飛び出た楽しい掲示板に、気づいた方は沢山いたと思います！来年からは1週間前からでも立てたいと思いました。普段から利用される図書館で年に一度こんな素敵な「ひろば」が繰り広げられると早めに知っておいて頂きたいのです！当日は、お出かけ日和のお天気でしたので、訪ねた方は思っていたよりも少なかったように感じました。

ひろばの開催場所は、少し分かりにくいと思います。毎年思うことがあります。一度「ひろば」を図書館内で作りたい。「今日展示の本は、絵本学習会の皆さんのおすすめ本です」という掲示を何度も夢を見ました！

この度親子の姿は多く、小さな赤ちゃんにも読める絵本がありました。左京図書館や沢山の方の働きかけがあってこそ開催される『子ども読書の日』にちなんだこのイベント。訪れる方は少ないと悩み2015年より、話し合いを重ねて工夫を考えて、「行きたい」と思えるひろばに育ちましたが、いざコロナ禍の中復帰になると、新たに考えるべき時期が来たと感じています。

「ひろば」だからこそ、「賑わう」姿は、自然の姿だと思います。

（えほんひろば in きょうとスタッフ・絵本学習会 レウナキ・マイラ）

けやきの活動記録

2022年2月～5月

2月中旬～ 「えほんのひろば in きょうと」準備

2/10～3/10 「図書館で発表会」展示

3月上旬～ ニュースレター65号原稿依頼、作成、編集

3月下旬～ 「えほんのひろば in きょうと」チラシ配布

4/16 「えほんのひろば in きょうと」前日準備

4/17 「えほんのひろば in きょうと」開催

「赤ちゃん絵本をたのしむ会」「ブックトーク」同時開催

5/20 ニュースレター65号、活動報告・総会案内 印刷・発送

<図書館おたのしみ会に協力>（第4土曜日）

2/26、3/26

<絵本学習会>（第4金曜日、3,7,12月は第2金曜日）

2/25（中止）、3/11、4/22

<事務局会議><図書館とのミーティング>（主に第1金曜日）

2月・3月はメールで実施、3/25、4/26、5/20

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動>

（毎週木曜日 10:30～12:00）

中止

けやきの
本棚

No.65

100万回死んだねこ

覚え違いタイトル集

福井県立図書館編著 講談社 2021年
図書館のカウンターで働いたことがある方なら、一度は遭遇したことがあるのでは？と思われる図書館員版「あるある」集

です。覚え違いの内容はもちろん面白いのですが、その本の読みどころも書かれていて、本のガイドブックとしても楽しめます。また、巻末にはあまり知られていない図書館サービスや検索のコツ、楽しみ方などが紹介されており、図書館を身近なものに感じてもらえる1冊となっています。（左京図書館 中名）



REPORT どうなる？どうしたい!?

これからの京都市図書館

図書館友の会全国連絡会近畿地域集會に参加して

2022年3月19日

今年度から、平日の閉館時間が繰り上がるなど京都市図書館の開館時間が短縮されていることに、みなさんは気づいておられますか？これは、最近「市民しんぶん」などでも盛んにアピールされている京都市の「財政ひっ迫」に対処する経費削減策の一つとして、実施されたもので、「開館時間の見直しによる経費削減（△1600万円）も図ること、新たに電子書籍サービスを導入（予算1200万円）する」（令和3年度第2回京都市図書館協議会摘録※より）ようです。

京都市の京都市図書館への年間負担経費は、2016～19年度は毎年16億2,000万円前後です。2019年度の京都市の一般会計歳出総額は7,705億円、図書館経費は歳出総額のわずか0.2%なのです。京都市は、2009年度の19億7,000万円からこの10年間で、すでに3億5,000万円も図書館経費を節約しているのです。さらに削減せよとは!?

また、上記の図書館協議会摘録には、京都市の図書館行政の今後の方針の一つとして「現在の図書館施設について、にぎわい施設や商業施設との一体的な整備や、他の公共施設の整備に合わせた複合化等、図書館サービスの利便性の一層の向上や更なる付加価値の創造につながる統合・再配置や再整備を検討し、市民が本を基軸として様々な文化に親しめる生涯学習の拠点施設の創設を目指す。」ことが挙げられていました。

折しもこの3月19日に、図書館友の会全国連絡会(図友連)の近畿地域集會がオンラインで開かれました。私たち「図書館友の会けやき」も会員となっている連絡会です。初めに脇谷邦子氏より大阪府内の公共図書館の運営状況や

近畿地域のいわゆる「ツタヤ図書館」について詳しい報告がありました。その後参加者がそれぞれの活動や地元の図書館の現況等を紹介し、交流しました。この集會に参加して、上記のような局面にある京都市図書館の今後を考えるにあたって、多くの示唆を受けることができました。

大阪府内の公共図書館でも、運営に指定管理者制度を導入するところが増えていています。必ずしも経費削減とはならないことや、運営団体が短期間で変わり図書館運営のノウハウの蓄積・継承や図書館間での共有ができないことなど指定管理者制度の問題点は多々ありますが、決して見過ごせないのは、この制度の導入をはじめとする行政の図書館運営への民活導入が司書の非正規有期雇用を著しく増加させていることです。京都市図書館でも、近年有期雇用の司書さんが増えていています。司書は、現場での経験を積み重ねることで地域・利用者・資料等を深く知り、豊かなサービスを提供することができます。これまでけやき会員はボランティアとして、左京図書館の行事等で、司書さんと協働してきました。共に活動した司書さんが、他館への異動ではなく雇用期限が来たために去って行かれるのは本当に残念です。図書館では、人件費こそ削減してはいけないと思います。

そして、いわゆる「ツタヤ図書館」は、まさに「にぎわい施設や商業施設との一体化」の典型ともいえるでしょう。図友連近畿地域集會では和歌山市や宮城県多賀城市の例が報告され、開館当初は物珍しさもあり市外からの来館が多く来館者数は増えるが、地元市民の図書館利用は年を経るごとにむしろ減っている、ということを確認しました。図書館の統合・再配置の動きは、大阪府豊中市でも出ています。地域図書館の廃止や面積の削減、運営の民活導入等が盛り込まれた市の基本構想に対して市民が立ち上がり、現在それらに反対する署名活動を積極的に展開しています。

空白の五マイル

チベット、世界最大のツアンポー峡谷に挑む

角幡唯介著 集英社 2010年(集英社文庫 2012年)

「極論をいえば、死ぬような思いをしなかったら冒険は面白くないし、死ぬかもしれないと思わない冒険に意味はない。」
人類未踏の峡谷にたった一人で挑んだ作者はこう言い切る。24

日間にわたって生死の境をさまよった作者は、過去を見つめ、己と向き合い、伝説を肌で感じる。都会でのんびり暮らす者に、到底その感覚は捉えきれないが、それが冒険する意味なのだろう。目に見えない世界の深さがつづられた1冊だ。

(左京区 S・K)

今回の図友連近畿地域集会では、他の図書館友の会や図書館員の図書館に対する熱い思いと実践の数々を直に聴くことができ、たくさんの方の活動のヒントも得ました。そして、私たちが望む図書館を得るためには、「私たちはどんな図書館が欲しいのか」をしっかりと考え、みなで声をあげていかなければならないと、改めて思いました。(永井)

※京都市図書館 HP 図書館協議会から閲覧可能。京都市の今後の図書館行政の方針及び具体的な方向性の詳細と、それらに対する京都市図書館協議会委員の意見が掲載されています。ぜひお読みください。

ブックリスト 図書館を知ろう

☆あなたのための図書館

希望の図書館

リサ・クライン・ランサム著 松浦直美訳 ポプラ社 2019年
第2次世界大戦後のシカゴ、黒人の少年が図書館と出会い、自分の居場所を見つける物語。

図書館へ行こう

田中共子著 岩波ジュニア新書 2003年
本の選び方や図書館の使い方を具体例を挙げて示す。
ジュニア向けの図書館入門書。

ラオス 山の村に図書館ができた

安井清子著 福音館書店 2015年
少数民族モン族の住む村に、著者が子どものための図書館を作り、活動を広げていった記録。

ムーンヒルズ魔法宝石店2

空色トパーズとあたらしい友だち

あんびるやすこ作絵 講談社 2019年
この本のしゅ人公は、パールという新米ま女の女の子です。パールは、いじわるま女セレニティスので、ジュエル・リスナーです。ジュエル・リスナーは、ほう石と話ができるま女

バスラの図書館員 —イラクで本当にあった話

ジャンネット・ウィンター絵文 長田弘訳 晶文社 2006年
戦火の中、図書館から3万冊の本を救い出した、一人の女性図書館員の実話をもとにした絵本。

☆図書館のあゆみ

新編 子どもの図書館

石井桃子著 岩波現代文庫 2015年
「かつら文庫」7年間の活動と、著者が文庫開設前に視察した欧米の児童図書館の状況をつづる。

移動図書館ひまわり号

前川恒雄著 筑摩書房 1988年(夏葉社 2016年復刊)
日本の公共図書館を変えるきっかけとなった「ひまわり号」。「市民の図書館」はいかにして作られたのか。

☆これからの図書館

図書館・まち育て・デモクラシー

嶋田学著 青弓社 2019年
瀬戸内市民図書館がどのような考えのもと作られたのか、館長である著者が地域における図書館の役割を説く。

公共図書館を育てる

永田治樹著 青弓社 2021年
海外の図書館事情をデータを示しながら紹介、これからの日本の公共図書館はどうあるべきか、将来像を示す。

市民とつくる図書館

青柳英治編著 勉誠出版 2021年
市民が図書館の設置、運営に関わってきた実例を挙げ、「参加」「協働」をキーワードに図書館のあり方を考える。

のことで、その力をもつま女は100年に1度生まれるか生まれないかぐらいとてもめずらしいのです。パールは、ちゅうもんに合わせてほう石のアクセサリを作っています。この本は、友だちは「ありがとう」ではじまるとおしえてくれました。絵もかわいくて、正しいことより大切なことをおしえてくれるので、ぜひよんでみてください。(小3 シャキヤ真綾)

図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおとのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30～12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結ぶけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

- ◆入会希望の方は年会費500円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番
口座名称 図書館友の会 けやき

- ◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。
- ◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

けやき情報版

図書館友の会けやき 2022年度定期総会・図書館交流会

3年ぶりに、定期総会と図書館交流会を、会場に集まって開催します。

◇日時：2022年6月10日（金）

午前10:00～10:30 総会

午前10:35～12:00 図書館交流会

◇会場：左京合同福祉センター3階大会議室
（左京図書館の上階）

図書館交流会では、左京図書館の館長さんや司書さんと左京図書館ボランティア、けやき会員が図書館の現状や日ごろの活動について話し合います。ぜひこの機会に、けやきの仲間になってください。

編集後記

気になる講演会を見つけても、オンライン開催だと「まあ、いっか」。会場に足を運ぶ方が面倒なのに、なぜか申し込む気になりません。同じ時間・空間を他者と共有することで得られるものは、思いのほか大きいのだと気づきました。地域の人たちが「集う」場として、今、図書館で何ができるのか、試行錯誤が続きます。（澤田）

左京図書館が現在地に移転開館して23年。夜間開館、インターネット予約等々、利便性も向上しました。けやきもこの間、利用者の立場で気づいた課題を図書館に伝え続け、京都市の図書館作りに貢献して来た自負があります。ただ、ここに来て、財政逼迫などで、京都市をはじめ各地の図書館に変化やその兆しがあります。市民にとって必要不可欠な図書館、そのあり方を見つめ直したい今、今号4頁のレポート「どうなる?どうしたい!?これからの京都市図書館」をぜひ読んで下さい。（島崎）

◇けやき 第65号 2022年5月20日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 理恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : info@totomo-keyaki.com